

授業科目	中心市街地活性化論		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	石橋 貞男		
実施日・時間	4月14日(土)	13:00~14:30	
	4月28日(土)	13:00~16:10	
	5月12日(土)	13:00~16:10	
	5月26日(土)	13:00~16:10	
	6月9日(土)	13:00~16:10	
	6月23日(土)	13:00~16:10	
	7月7日(土)	13:00~16:10	
	7月21日(土)	13:00~16:10	

### 【講義内容】

中心市街地の空洞化が問題になっています。商店街の衰退がその一因です。政府はこれまでの「まちづくり三法」(中心市街地活性化法・改正都市計画法・大店立地法)を見直し新「まちづくり三法」をつくりました。コンセプトはコンパクトシティということです。

これまでTMO(タウン・マネージメント・オーガニゼーション)を活用した中小小売商業中心の活性化策から、まちなか居住の推進やさまざまな都市機能の市街地集約、高齢化に備えた福利施設の整備や公共交通機関の整備等へと施策の重点が移っています。しかし、やはり中心市街地活性化には商店街の再興がポイントになるのではないかと考えています。この観点から中心市街地活性化について授業をとおして考えてみたいと思います。

- ①「まちづくり三法」について
- ②小売業における売買集中の原理の作用様式
- ③売買集中の外部性としての小売店舗
- ④小売店舗の外部性としての街並みと商店街
- ⑤小売業における店舗規模と外部性
- ⑥都市施設と買い物施設
- ⑦商業集積とまちの管理問題
- ⑧まちづくりのルールと公共性

※可能であれば、商店街でのヒアリングなどフィールドワークを行いたい。

### 【テキスト・教材】

石原武政著「小売業の外部性とまちづくり」有斐閣、2006年(3,600円+税)。

拙稿「和歌山県下における中心市街地活性化とTMO」2005年(配布します)。

### 【事前学習】

上記のテキストを授業前に通読しておくこと。